

事業所名		公表日 令和8年2月27日				
児童デイサービス・アニマートぎのわん						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	1	2	・もう1名いたらいいと思う。職員で話し合ったりしやすい方法を考えている。 ・加配職員がいると尚良い。 ・職員配置がすくない。	・職員配置が十分行き届くように努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	・月間活動を室内に掲示しても良いかも。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	・消毒など毎日行っている・壊れている（割れている）道具があるので、修理が必要。	・常に清潔な空間を保てるように努めます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	・常に使用できるように整理整頓を心がけている。 ・相談室が設けられている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	0	・常に業務改善を意識した話し合いがなされている。 ・広く職員が参加していたり、機会はあったり工夫が話し合われたりしても実行が伴っていない。	・改善、実行に伴うように努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・ミーティングや話し合いの日を設けている。 ・ミーティング以外にも申し送りや意見が話せる。	・今後も職員が話しやすい環境を維持できるように努めます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1	・第三者という点で不明である。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	・外部研修の案内があったり、法人内研修にて職員の質の向上が図られている。	・より多くの研修を受講し、支援の質の向上に努めます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	・支援に関わる職員とのミーティング、聞き取りがされている。	・今後もチームで支援計画に関われるように努めます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	・共有されているが、まだ十分に実行されていないところがある。	・計画に沿った支援がなれるように職員間のつながりを重視できるように努めます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	・それに沿った支援をするように心がけている。 ・児童の気持ちを考えながら進めている。	・今後も継続できるように努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	・日々の業務に追われ、おろそかになることがあるができる限り時間を作っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	・5領域を意識した活動内容となっており、かたよりのないようになっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	・活動に入りやすいような内容にしている。 ・役割分担など細かなところまで確認されていない。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	・振り返りをしたあとに改善できるように今の課題である。 ・その日で支援の振り返りがされていない。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	1	・記録の検証、改善にまで至っていない。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	3	0	・こどもミーティングなどを行っている。 ・活動参加など利用児童の意向を確認している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	・児発管が必ず参加している。	
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1	・現在対象児がいない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2	・現在対象児がいない。 ・まだ移行する機会を見ていない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	・わからない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	0	・長期休みには児童館の利用を計画に入れている。	・長期休みの児童館利用を継続しながら、ほかにも地域のこどもと交流できる機会がないか検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	・家族等の参加できる研修の機会があるかわからないが、対応力を図る配慮はされている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	1	・クリスマス会を開催し、交流する機会を設けている。 ・交流できる機会を増やしても良いと思う。	・家族の交流が深められるように検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	・職員で共有し、話し合いを行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0		・今年度は不定期のつうしん発行となってしまったため、継続して発信できるように努めます。

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2	・ハロウィンなど、地域を回っている。 ・季節の行事には交流する機会はあるものの、招待はできていない。 ・招待するに至っていないが、訪問する等の機会がある。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	・マニュアルは周知しているが、訓練はしていない。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	・年に2回行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0	・服薬内容の変更があれば、保護者がすぐに共有してくれる。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1	・アレルギーチェックを行っている。 ・医師の指示を仰ぐ重篤な者がいない。	・おやつ提供などアレルギーチェックを怠らないよう努力します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1	・常に見れるようにファイルしている。 ・共有されている部分もあるが、記録されていないところがある。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	・研修のほか、時事ネタをミーティングで取り上げている。	・今後も虐待防止に取り組み、職員全体で意識できるように研修を継続して行います。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0	・現在対象となる児童はいませんが、研修で職員へ周知が図られている。	・現在対象の児童はいませんが、今後も身体拘束につながらないように職員で話し合い、良い支援が提供できるよう研修を重ねていきます。